

令和5年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成 事業完了報告書（地域福祉推進助成）

a	報告日	令和 6 年 2 月 2 0 日		事業完了後 15 日以内ですか	
b	団体名 (法人格も記載)	(フリガナ) トクテイヒエイリカツドウハウジン マルマルカイ 特定非営利活動法人〇〇会			
c	代表者 (役職・氏名)	(フリガナ) カイチョウ マルマル マルマル (役職) 会長 (略) 〇〇 〇〇	法人格 役職 フリガナを忘れない ようにしてください。		
d	団体の所在地	〒540-8570 大阪市中央区大手前 2-1-22			
	電話	06-6944-6663	FAX	06-6944-6681	
	連絡担当者 (※①が代表者の場合は、必ず②に代表者以外の事務担当者をご記入ください。)	連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> ①事務所 <input type="checkbox"/> ②自宅 <input type="checkbox"/> ③勤務先 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		
		①担当者 氏名	(フリガナ) 〇〇 〇〇	電話	090-●●●●-●●●●
			〇〇 〇〇	FAX	06-6944-6681
				e-mail	chiiki@sbox.pref.osaka.lg.jp
		②担当者 氏名	(フリガナ) △△ △△	電話	090-●●●●-△△△△
			△△ △△	FAX	同上
				e-mail	同上
	書類等の送付先 住所及びあて名	送付先住所	(団体の所在地と異なる場合記載してください。(同一の場合は空欄)) 〒 -		
		あて名			
		いずれかに <input checked="" type="checkbox"/>	交付申請書どおりの事業名を記入してください		
F	事業名	地域における孤独・孤立問題等に対する支援事業			
G	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 民間団体提案型事業 <input type="checkbox"/> 施策推進公募型事業【テーマ】『地域における』			
G	事業実施期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月10日			
H	申請事業の主な 実施場所	所在地	①大阪市中央区大手前 2-1-22、②大阪市〇区 1-2-3、③大阪市〇区 2-3-4		
I		名称	①法人事務局、②●●ホール、 ③●●センター		⑤+⑥+⑦=合計
J	参加人数	①~④ 合計	左 記 人 数 内 訳	①障がい児者 10人 ②高齢者 5人 ③子ども 0人 ④その他 80人	⑤自団体役職員・自団体職員/ スタッフ・自団体会員 10人 ⑥自団体以外のボランティア 15人 ⑦上記以外 70人
J		95人		①+②+③+④=⑤+⑥+⑦	

昼間連絡のつく連絡先を記入してください。

いずれかに

交付申請書どおりの事業名を記入してください

実際に事業を行った期間を記入

①+②+③+④=合計

⑤+⑥+⑦=合計

（事業評価項目「①実施体制」「②プロセス」「④アウトプット（事業実績）」ごとに具体的に記入してください。記入しきれない場合は別用紙に記入し添付してください。

事業の実績

【添付書類】

成果物、写真、パンフレット、事業で用いたレジュメ等、実績のわかるもの

《事業評価項目「①実施体制」について》

・十分な実施体制（専門知識のあるスタッフやボランティア等の確保、必要な情報や課題・成果の共有等）により事業が実施できたか等についてご記載ください。

《事業評価項目「②プロセス」について》

・費用対効果の高い効率的、効果的な手法により事業が実施できたか等についてご記載ください。

《事業評価項目「④アウトプット（事業実績）」について》

・事業を計画どおりに達成できたか、事業の量的な指標（いつ・どこで・なにを・だれに・どのように）が達成できたか等についてご記載ください。

〈記入にあたっての注意〉

事業実施期間内に実施した事業について時系列で記載してください。その際、「様式第10号その3 助成金実績額計算書」の内容と連動するよう記載してください。

- 5/7 第1回運営委員会（D氏、E氏、F氏）、場所●●
- 6/7 R5年度●●講演会15時開演（17時終了） 場所●●ホール
講師A氏、B氏 「テーマ：・・・」 参加者30名
- 6/9 第2回運営委員会（D氏、E氏、F氏）、場所●●
- 7/8 R5年度養成研修（第1回）10時～正午、場所●●センター研修室
講師C氏、参加者10名

（以下、省略）

**事業実施の
効果等**

【添付書類】

参加者のアンケート
分析結果など、事
業を行った
成果・効果がわかる
もの

⑤「アウトカム（質的効果）」③「継続性・発展性」⑥「インパクト（波及効果）」について、(1)から(3)をふまえて記入してください。記入しきれない場合は、別用紙に記入し添付してください。

(1)助成金を使って助成事業を実施したことで事業がどのように発展したのか。

(2)事業を実施することでどのような成果や効果がもたらされたのか。

(3)今回の事業実績を今後どう活かしていき、どのような活動展開をしていくのか。

《事業評価項目「⑤アウトカム（質的効果）」について》

- ・利用者等のニーズを満たすものとなっているか、事業目的に合った十分な成果となっているか等の評価が得られたかご記載ください。

《事業評価項目「③継続性・発展性」について》

- ・一過性ではなく、事業終了後の継続を視野に入れた体制を整えているか、また、対象地域の拡大、事業内容の充実・発展等のあるものとなっているか等についてご記載ください。

《事業評価項目「⑥インパクト（波及効果）」について》

- ・事業の実施により、新たな利用者の獲得や連携・協働先の確保等につながったか、事業の成果が他の地域や社会へ波及したかについて、記入してください。